

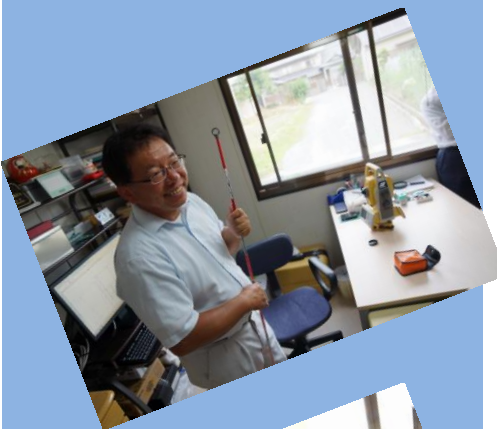
三河商人道

PART
155

所長

鈴木 久雄 君

青年部とは 学びの場



いつも朗らかで周りの雰囲気常を明るくしてくれる鈴木測量登記事務所所長、鈴木久雄さん。明るく、柔和な笑顔に迎えられて、青年部に入会してからの6年間と仕事への思いを熱く語って頂きました。

平成22年、土地家屋調査士として鈴木測量登記事務所を独立、開業された鈴木久雄さん。土地の測量を主な仕事とされており、特に土地の隣接部分に境界を設置する作業は人の財産を扱うため、非常に責任が重く、気を遣う作業である。また、説明が1つ足りないだけで、隣接する土地の所有者の方々との話がまとまらない事もあるため、この仕事では人とのコミュニケーションが非常に大切であるということを教えて頂きました。

当時、開業したての鈴木さんが岡崎商工会議所に税金について聞きに来たことがきっかけで青年部に入会。事務局から青年部という組織があるという説明を聞いたことで、何か得るものがあるのではないかと、自分の勉強のために青年部に飛び込んだそうです。入会当初は、知り合いはいなかったのですが、お祭り好きと言うことで、1年目は当時の尾野守振興委員長のもとで委員会活動を学び、さらに平成23年度には高原裕治親睦委員長のもとで幹事を務められたのちに、平成26年度には自ら立候補して相互啓発委員会の委員長まで務められました。企画した平成26年度の2月例会で青年部の歌が途切れてしまったときは、冷や汗以上のもを感じたそうです。また、仲間にも恵まれ、鈴木さんを慕う会も発足され、青年部メンバーとより深い交流が出来たことも非常に良い思い出と語って頂きました。

そんな鈴木さんの趣味は魚釣り、魚だけではなく、うなぎまでさばくことができるそうです。また、1級小型船舶操縦免許証まで取得されているそうで鈴木さんの意外な一面を見つけた気がしました。青年部では、ソフトボール部に所属し、小学校から始めた経験を生かし、投手として活躍されているそうです。平成26年度の県連ソフトボール大会では優勝投手として、当時の永田龍寛監督の胸上げにも貢献しました。

最後に青年部とは「学びの場」であると鈴木さんは強く語ってくれました。「自分の会社では経験できないことを青年部では経験させてくれる。自分自身もチャレンジャーとして青年部で様々な学びを経験できた。その経験のおかげで自分自身をステップアップさせることができ、さらには仕事にも応用がすることができた。また、知り合いや友人も青年部を通してたくさんでき、人と接する大切さを学ぶこともできた。」そうです。そして我々後輩に向けて、「青年部で色々なことをどんどんチャレンジし、自分の成長のために利用すべき」と語ってくれました。青年部におけるチャレンジ精神を大切にされる鈴木さんのお話から、今後、青年部活動に参加していく心構えを見つめ直すことのできた貴重な取材となりました。

取材担当／
広報委員会
伊豫田悠佑、小出寛之、
佐藤寿行、佐野仁信、
伊與田晃浩、加藤純也、
金澤智晴、倉橋玉喜、
佐野真琴、戸松賢和、
深田賢之、山本創、
由良隆幸

